

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (基礎) / カウンセリングの基礎 (2 単位)		3. 科目番号	JNCC2506
2. 授業担当教員	八重樫 幸雄			
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>カウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に理解する。プライベートへの配慮などの倫理的側面、精神衛生や予防など心の健康教育についても理解する。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの基本的な概念やプロセスを理解し、説明できる。 2. カウンセリングの面接技法、関係者への支援等について実践的な演習を行う。 3. カウンセリングにおける倫理的側面、心の健康教育について理解する。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アサイメント 事前学習、事後学習で取り組んだ内容を毎回のアサイメントシートに記述する。 ・レポート課題 講義を通して学んできたカウンセリングをあなたはどのように生かそうとするか、場面や対象者を明確にしてより具体的に分かるようにあなたの考えを述べなさい。1200字程度 			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長尾 博著『やさしく学ぶカウンセリングの26のレッスン』金子書房、2016年 <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸富祥彦・富田久枝『保育現場で使えるカウンセリング・テクニック (全2巻)』ぎょうせい、2015年。 			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に熱心に取り組み、積極的に発言・発表・ノート作りをしたか。 2. レポートは、要点を分かりやすくまとめる力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加度(学習態度、発表、ノート等)50%</p> <p>レポート課題 50%</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>保育・教育だけでなく、家庭や職場、地域での人間関係に問わず様々な課題を抱えている。本科目では、カウンセリングの理論と方法を学ぶことを通して人間関係の改善につなげようとするものである。職場内での関係性、子どもや保護者との関係性をどのように持つことがよいか、カウンセリングの演習を通してカウンセリングの態度やスキルを楽しく体験的に学べる授業にしていきたい。</p>			
13. オフィスアワー	第1回の時に知らせる。連絡先 yuyaegas@ed.tokyo-fukushi.ac.jp			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション: カウンセリングとは何か	事前学習	シラバスを読んで、自分の関心のあるところを説明できるようにしておく。	
		事後学習	カウンセリングについて説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第2回	人間関係を改善のために ～対人認知や自己認知の変化の取り組み～	事前学習	教科書 pp. 2～6 を読んで認知療法や論理情動行動療法について調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。	
		事後学習	人間関係改善にかかわる様々な心理療法について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第3回	カウンセリングの理論 ～なぜ来談者中心カウンセリングなのか～	事前学習	教科書 pp. 7～12 を読んでロジャーズや来談者中心カウンセリングについて調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。	
		事後学習	来談者中心カウンセリングの重要性や長所、短所について説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第4回	カウンセラーの基本的な態度とカウンセリングの流れ ～場面構成及び傾聴、共感の重要性～	事前学習	教科書 pp. 13～17 を読んで場面構成や傾聴、共感を調べ説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。	
		事後学習	カウンセラーの基本的な態度とカウンセリングの流れで学んだことについて説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	
第5回	カウンセリング演習① ラポール形成のレッスン	事前学習	教科書 pp. 20～25 を読んでラポール形成を調べ、説明できるようにアサイメントシートにまとめておく。	
		事後学習	ラポール形成のレッスンで学んだことについて説明できるように、アサイメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。	

第6回	カウンセリング演習② ことばによるコミュニケーションの レッスン	事前学習	教科書 pp. 26～32 を読んでことばによるコミュニケーションを調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	ことばによるコミュニケーションのレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第7回	カウンセリング演習③ 非言語によるコミュニケーションの レッスン	事前学習	教科書 pp. 32～38 を読んで非言語によるコミュニケーションを調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	非言語によるコミュニケーションのレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第8回	カウンセリング演習④ グループでのロールプレイの レッスン	事前学習	教科書 pp. 39～45 を読んでロールプレイを調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	ロールプレイのレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第9回	カウンセリング演習⑤ カウンセリングスキルのレッスン（1） ～共感と純粋性～	事前学習	教科書 pp. 46～60 を読んで共感と純粋性を調べ、説明できるようにシートにまとめておく。
		事後学習	共感と純粋性のレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第10回	カウンセリング演習⑥ カウンセリングスキルのレッスン（2） ～沈黙とリード～	事前学習	教科書 pp. 60～67 を読んで沈黙とリードを調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	沈黙とリードのレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第11回	カウンセリング演習⑦ カウンセリングスキルのレッスン（3） ～繰り返し～	事前学習	教科書 pp. 68～70 を読んで繰り返しを調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	繰り返しのレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第12回	カウンセリング演習⑧ カウンセリングスキルのレッスン（4） ～明確化～	事前学習	教科書 pp. 70～76 を読んで明確化を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	明確化のレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第13回	カウンセリング演習⑨ カウンセリングスキルのレッスン（5） ～対決と直面～	事前学習	教科書 pp. 76～85 を読んで対決と直面を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	対決と直面のレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第14回	カウンセリング演習⑩ カウンセリングスキルのレッスン（6） ～支持～	事前学習	教科書 pp. 85～93 を読んで支持を調べ、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	支持のレッスンで学んだことについて説明できるように、アサシメントシートにまとめ、確認テストの準備をする。
第15回	まとめ 授業及びカウンセリングスキルの振り返り	事前学習	これまでに学んだカウンセリングに関することで印象に残っていることや不明確なことを振り返り、説明できるようにアサシメントシートにまとめておく。
		事後学習	課題レポートを指定された日までに文書で提出できるようにする。